

環境経済部長の仕事宣言！

環境経済部長 立石 利治

1 基本姿勢（部の運営方針）

環境経済部の担当は、環境・農林・商工振興の3分野について担当しています。

環境行政については、ごみ減量化やリサイクル化など環境行政を推進し、家庭や地域で具体的な行動が根付くような取組みを展開します。

農林行政については、施設整備や機械導入、農地集積などを進めるとともに、農産物の地産地消や消費拡大などを推進します。

商工振興行政については、新たな産業の受け皿となる新産業集積エリアを整備し、雇用機会の確保、税収の確保などに努めるとともに、市内立地企業との意見交換や訪問により市内企業の支援を行います。

また、商店街の活性化のための方策や支援を行うとともに学会や文化・スポーツなどコンベンション誘致に努めます。

2 重点事業の概要（リープロ 11）

●リープロ 11 の名称〔活力とにぎわいのあるまちづくりプロジェクト〕

地元農産物の地産地消や地域ブランド化などを推進します。また、新たな産業用地の整備を行うとともに商店街活性化の方策・支援やコンベンション誘致を進めます。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・地産地消の取組みを進めます [農林課]
- ・地域ブランドの強化を図ります [農林課]
- ・新産業の集積を図ります [商工振興課]
- ・魅力ある商店街づくりを進めます [商工振興課]

●リープロ 11 の名称〔環境を守り、未来へつなぐプロジェクト〕

市民、事業者、行政が一体となり、ゴミの減量化・再利用・資源化に取り組めます。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・環境保全活動を進めます [環境対策課]
- ・地球温暖化対策を進めます [環境対策課]
- ・ゴミ減量化とリサイクルを進めます [環境対策課]
- ・循環型社会への意識改革を進めます [環境対策課]

3 重点事業の具体的取組内容（リープロ 11）

○リープロ 11 の名称

1. 活力とにぎわいのあるまちづくりプロジェクト

① 指標

給食における地元産品使用率の向上	現状：9.8%	⇒	H27年度：20.0%
認定農業者数の現状維持	現状：65経営体	⇒	H27年度：68経営体
家族経営協定割合の向上	現状：19%	⇒	H27年度：35%
製造品出荷額の増額	現状：3,820億円	⇒	H27年度：4,020億円
中心商店街空き店舗率の減少	現状：12.3%	⇒	H27年度：5%
観光施設・イベント等の集客数増加	現状：929,606人	⇒	H27年度：1,200,000人
シクハトロン光研究センターの利用者数	現状：142件	⇒	H27年度：200件

2. 環境を守り、未来へつなぐプロジェクト

① 指標

市民1人1日当たりのごみの排出量(資源物以外)

現状：890g ⇒ H27年度：800g

ISO14001、エコアクション2.1認定取得事業所数

現状：13事業所 ⇒ H27年度：20事業所

○平成26年度に具体的に何をしていくのか

環境行政は、環境についての出前講座開催や河川清掃活動などを通して、「ゴミ排出量の減量化」、「循環型社会構築」、「環境美化」に向けた取組みを行います。

農林行政は、集落営農組織や三神地区農業改良普及センター・JA等と連携し、新規就農者の確保や担い手の育成を図るとともに、施設整備や機械導入、農地集積などを進めるとともに、農産物の地産地消や消費拡大などを推進します。

商工振興行政は、新産業集積エリアの用地取得を目指し、早期に工事着手を行いたい。市内に立地している企業訪問を行い意見交換や要望・課題などの解決に努めます。

また、商店街活性化の方策・支援やコンベンション誘致を進めます。